

門型基板分割機(V溝用)・MKCシリーズ

汎用性の高いリニアスプリット方式を採用！
背の高い部品が分割ラインに近接する電源基板にも対応できます。

特徴

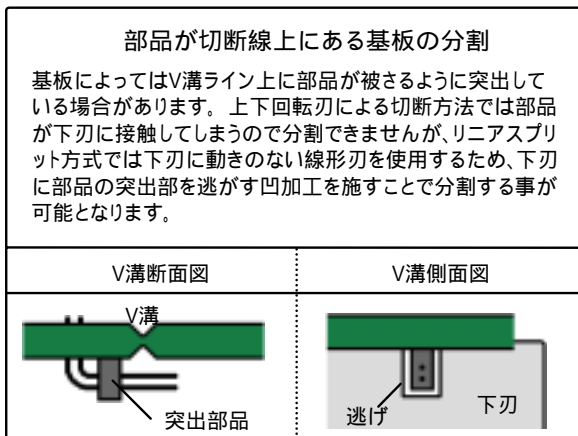
V溝を下刃(線形刃)に固定した状態で上刃を移動させてカットするリニアスプリット方式を採用しているため、刃がV溝ラインから外れる事なく、正確な分割作業が可能です。

上刃と下刃が噛み合う分割ポイントが高い位置に設定されており、周辺にスペース的な余裕があるため、V溝ライン付近に背の高い部品が配置された電源基板の分割作業にも適しています。

下刃に逃げ(凹形状)加工を施す事で、分割ライン上に部品の一部が突出している基板に対しても有効に機能します。

刃の両サイドが開放されたオープン構造になっており、長手方向(刃に対して90°の方向)が制約されないため、大型基板にも対応できます。

軽量で、どこにでも自由に持ち運びできるため、作業場所を選びません。また、指定サイズの特注機の製作も可能です。



仕様

項目	機種	MKC-200	MKC-300
分割方式		リニアスプリット方式	
分割長さ		Max 200mm	Max 300mm
丸刃外形寸法		75mm (材質:SKH-51)	
対応基板		ガラエポ基板	
外形寸法		(W)470 x (D)316 x (H)290mm	(W)550 x (D)330 x (H)290mm
本体重量		約8kg	約9kg

寸法(刃・周辺部)

